

# 『第199回 営業地区内の景気動向調査』

1. 調査内容	2025年 1～3月期の実績 2025年 4～6月期の予想		
2. 調査対象	当金庫営業地域内の企業	合計	104社
(業種別内訳)	製 造 業 27社	卸 売 業 8社	
	小 売 業 25社	サ ー ビ ス 業 11社	
	建 設 業 21社	不 動 産 業 12社	
3. 調査担当	道南うみ街信用金庫 営業店支援グループ		

## ☆ 目 次 ☆

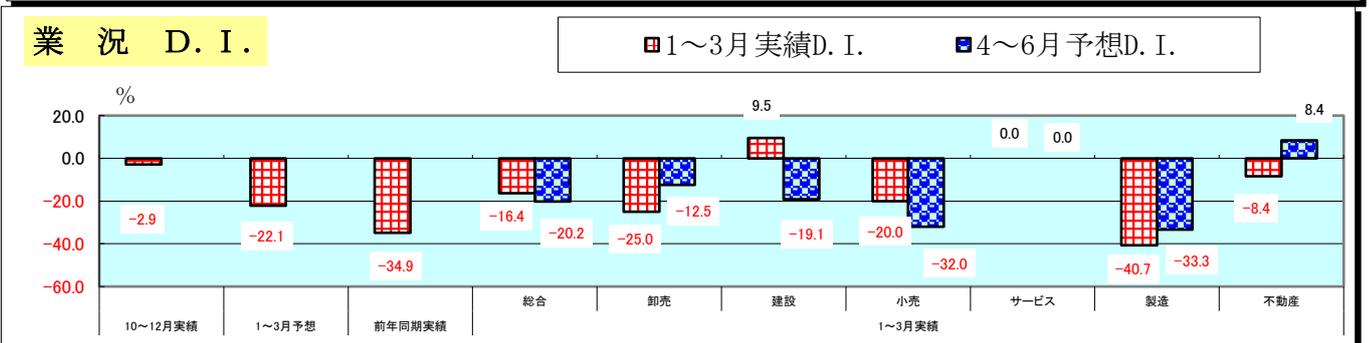
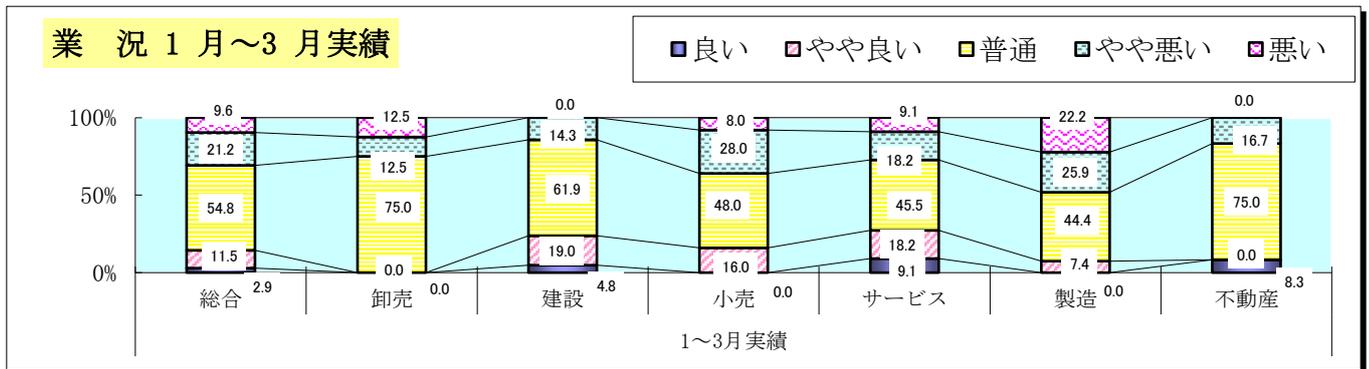
1	概況	P. 1
2(1)	前期に比べた売上額の動き	P. 2
2(2)	前期に比べた受注残高・施工高の動き	P. 3
2(3)	前期に比べた収益の動き	P. 4
2(4)	前期に比べた販売価格（料金価格・請負価格）の動き	P. 5
2(5)	前期に比べた仕入価格（原材料価格）の動き	P. 6
2(6)	前期に比べた在庫の動き	P. 7
2(7)	前期に比べた資金繰りの動き	P. 8
3(1)	前年同期に比べた売上の動き	P. 9
3(2)	前年同期に比べた収益の動き	P. 10
3(3)	前年同期に比べた販売価格の動き	P. 11
4(1)	前期に比べた残業時間の動き	P. 12
4(2)	前期に比べた人手の動き	P. 13
5	前期に比べた借入金の動き及び借入難易度	P. 14
6(1)	前期に比べた設備投資の動き	P. 15
6(2)	前期に比べた設備投資の実施と予定状況	P. 16
	経営上の問題点	P. 17
	当面の重点経営施策	P. 18
	特別調査 … 「外国人・海外情勢と中小企業」	P. 19～P. 20

※ 計数等については、四捨五入しておりますので、一部合計欄と一致しない場合がございます。



# 1. 概 況

概 況		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-2.9	
1~3月予想							-22.1	
前年同期実績							-34.9	
1~3月実績	総合	2.9	11.5	54.8	21.2	9.6	-16.4	-20.2
	卸売	0.0	0.0	75.0	12.5	12.5	-25.0	-12.5
	建設	4.8	19.0	61.9	14.3	0.0	9.5	-19.1
	小売	0.0	16.0	48.0	28.0	8.0	-20.0	-32.0
	サービス	9.1	18.2	45.5	18.2	9.1	0.0	0.0
	製造	0.0	7.4	44.4	25.9	22.2	-40.7	-33.3
不動産	8.3	0.0	75.0	16.7	0.0	-8.4	8.4	



## ○ [当金庫の取引先からみた中小企業の景況]

’25年1~3月期(今期)の業況判断D. I. は△16.4で、’24年10~12月期D. I. △2.9と比べ13.5ポイント悪化、前期調査における今期の予想D. I. △22.1に対しては5.7ポイント良化、前年同期比では18.5ポイント良化しました。

次期予想D. I. については△20.2と今期より3.8ポイント悪化の予想となりました。

## ○ [全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況] (信金中央金庫 地域・中小企業研究所調べ)

’25年1~3月期(今期)の業況判断D. I. は△9.1、前期比6.5ポイント低下と、4四半期ぶりの改善一服となった。

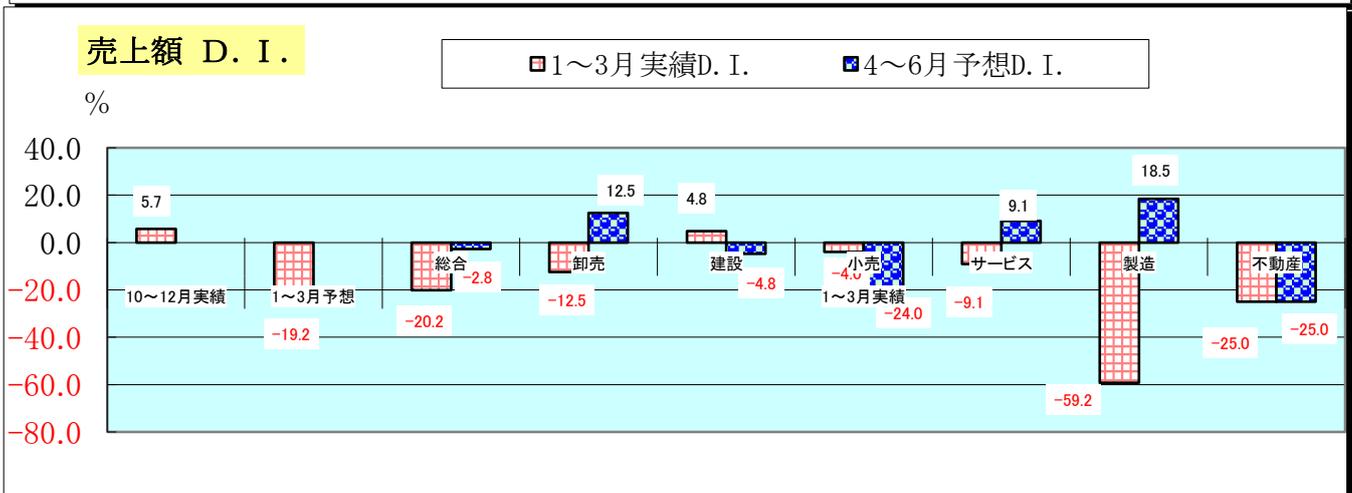
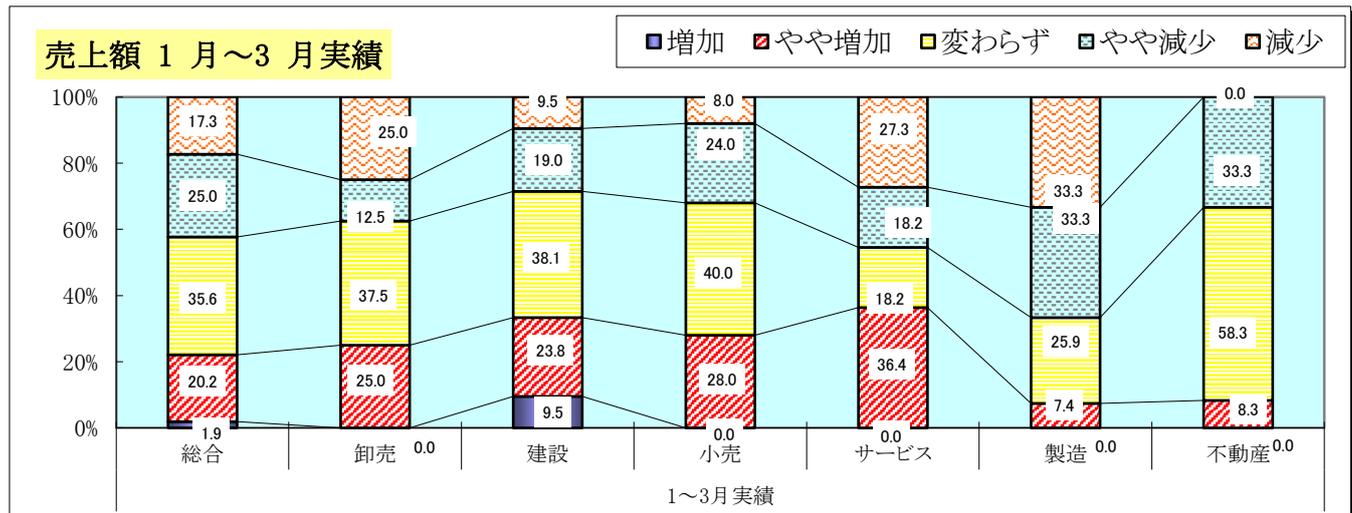
収益面では、前年同期比売上額判断D. I. がプラス6.0と前期比0.8ポイント低下、同収益判断D. I. は△5.3と同2.1ポイント低下した。販売価格判断D. I. はプラス27.3と2四半期ぶりに低下した。人手過不足判断D. I. は△26.1と3四半期ぶりに人手不足感が緩和した。設備投資実施企業割合は20.3%と前期比1.2ポイント低下した。業種別の業況判断D. I. は全6業種中、不動産業を除く5種類で、地域別には全11地域で、それぞれ低下した。

’25年4~6月期(来期)の予想業況判断D. I. は△6.4、今期実績比2.7ポイントの改善を見込んでいる。業種別には全6業種中、建設業と不動産業を除く4業種で、また、地域別には全11地域中、8地域で、それぞれ改善の見通しとなっている。

## 2. 前期に比べた動き

### (1) 売上額の動き

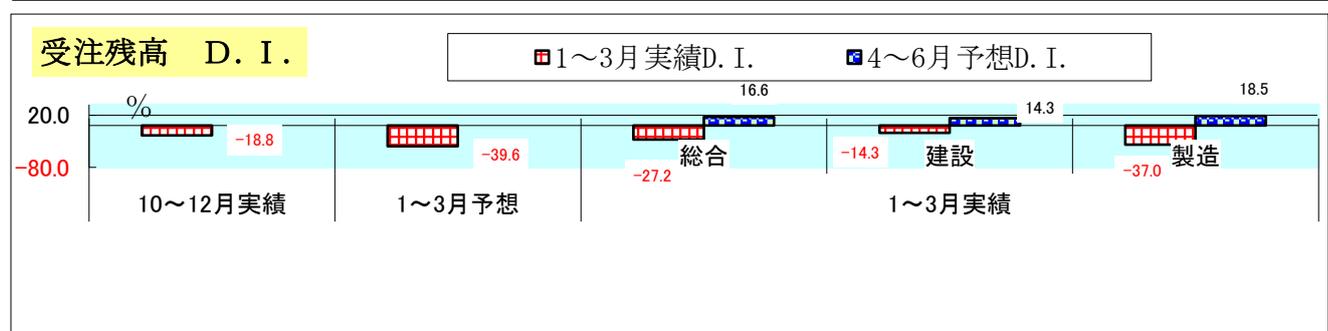
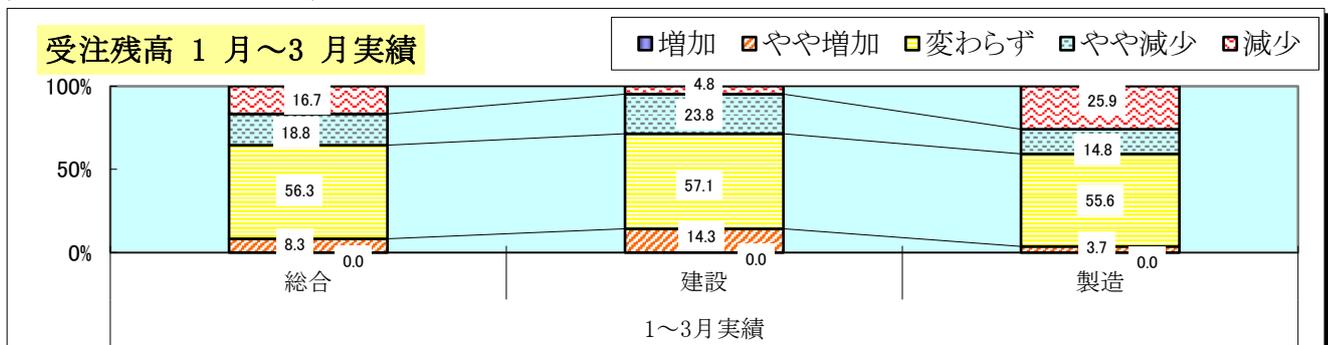
売上額		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							5.7	
1~3月予想							-19.2	
1~3月実績	総合	1.9	20.2	35.6	25.0	17.3	-20.2	-2.8
	卸売	0.0	25.0	37.5	12.5	25.0	-12.5	12.5
	建設	9.5	23.8	38.1	19.0	9.5	4.8	-4.8
	小売	0.0	28.0	40.0	24.0	8.0	-4.0	-24.0
	サービス	0.0	36.4	18.2	18.2	27.3	-9.1	9.1
	製造	0.0	7.4	25.9	33.3	33.3	-59.2	18.5
	不動産	0.0	8.3	58.3	33.3	0.0	-25.0	-25.0



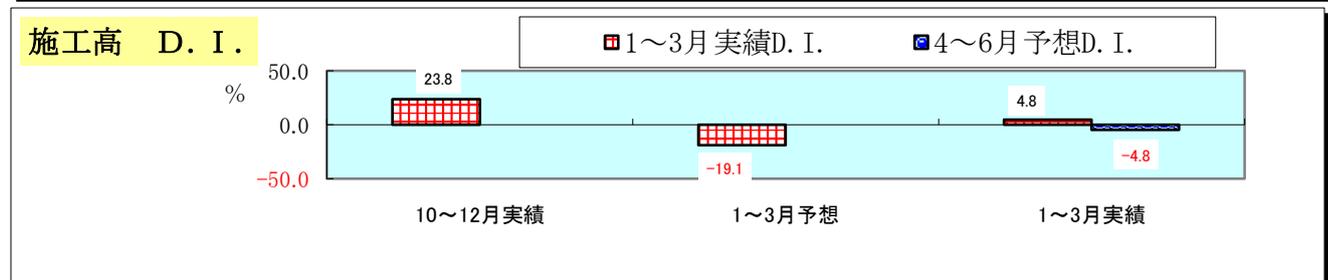
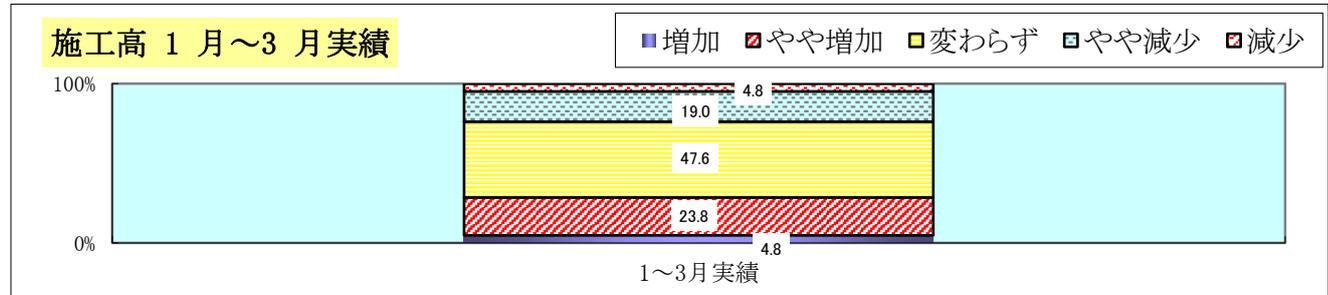
- 前期に比べて売上額が「増加」「やや増加」とした企業22.1%、「やや減少」「減少」とした企業は42.3%で今期D. I. は△20.2となりました。
- 今期の売上額の動きD. I. は、前期実績D. I. 5.7から25.9ポイント減少、前期調査における今期の予想D. I. △19.2に対しても1.0ポイントの減少となりました。
- 業種別の今期D. I. は、製造業で△59.2ポイント、不動産業で△25.0ポイント等の減少を示しました。一方、建設業のみ4.8ポイントの増加を示しております。
- 4~6月予想D. I. は△2.8で、1~3月実績より17.4ポイントの売上高増加予想となりました。

## (2) 受注残高・施工高の動き

受注残高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-18.8	
1~3月予想							-39.6	
1~3月実績	総合	0.0	8.3	56.3	18.8	16.7	-27.2	16.6
	建設	0.0	14.3	57.1	23.8	4.8	-14.3	14.3
	製造	0.0	3.7	55.6	14.8	25.9	-37.0	18.5



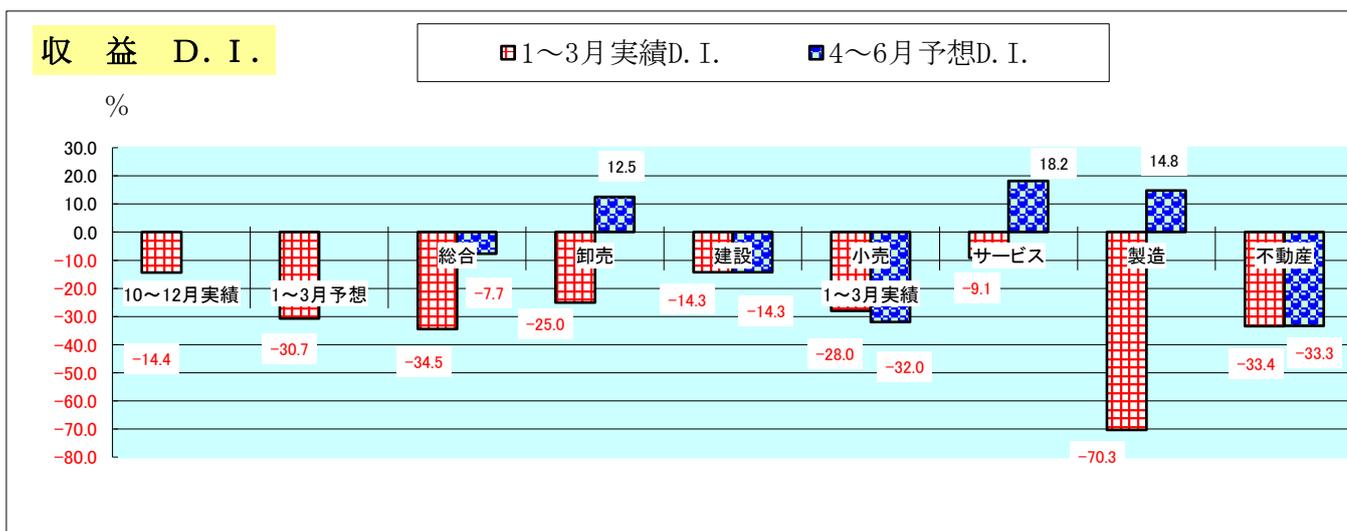
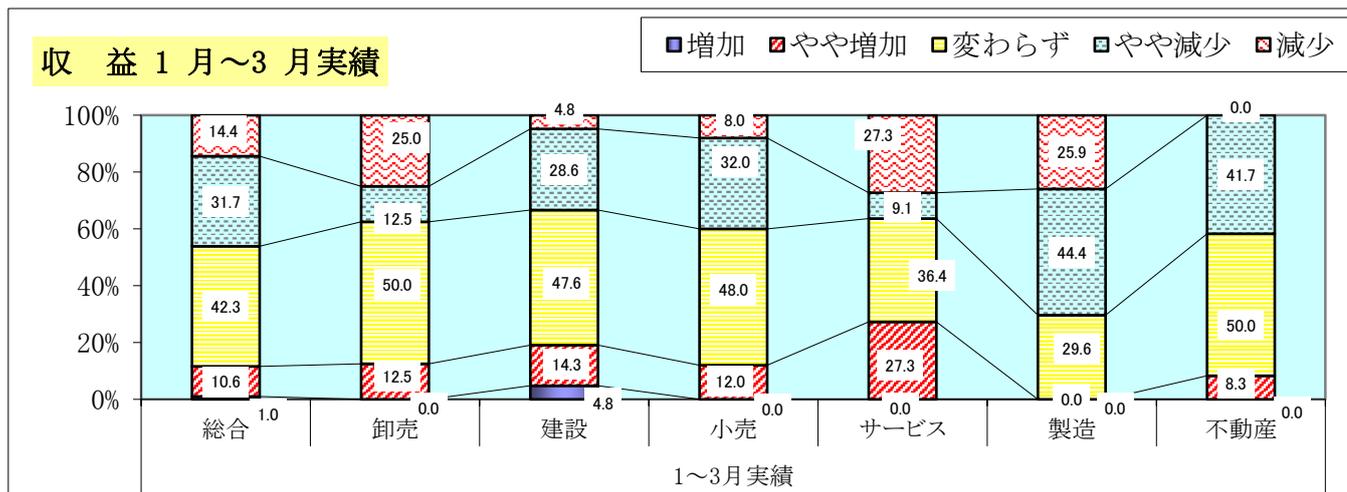
施工高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							23.8	
1~3月予想							-19.1	
1~3月実績		4.8	23.8	47.6	19.0	4.8	4.8	-4.8



- 今期の受注残高(建設業、製造業のみ)D. I. は $\Delta 27.2$ で、前期実績D. I.  $\Delta 18.8$ に対し8.4ポイントの減少となり、前期調査における今期予想D. I.  $\Delta 39.6$ に対しては、12.4ポイントの増加となりました。また、4~6月の受注残高予想D. I. は16.6で、1~3月実績対比43.8ポイントの増加予想となりました。
- 今期の施工高(建設業のみ)D. I. は4.8となり、前期実績D. I. 23.8に対し19.0ポイント減少し、前期調査における今期予想D. I.  $\Delta 19.1$ に対しては23.9ポイント増加しました。また、施工高4~6月予想D. I. は $\Delta 4.8$ で、1~3月実績対比9.6ポイントの減少予想となりました。

### (3) 収益の動き

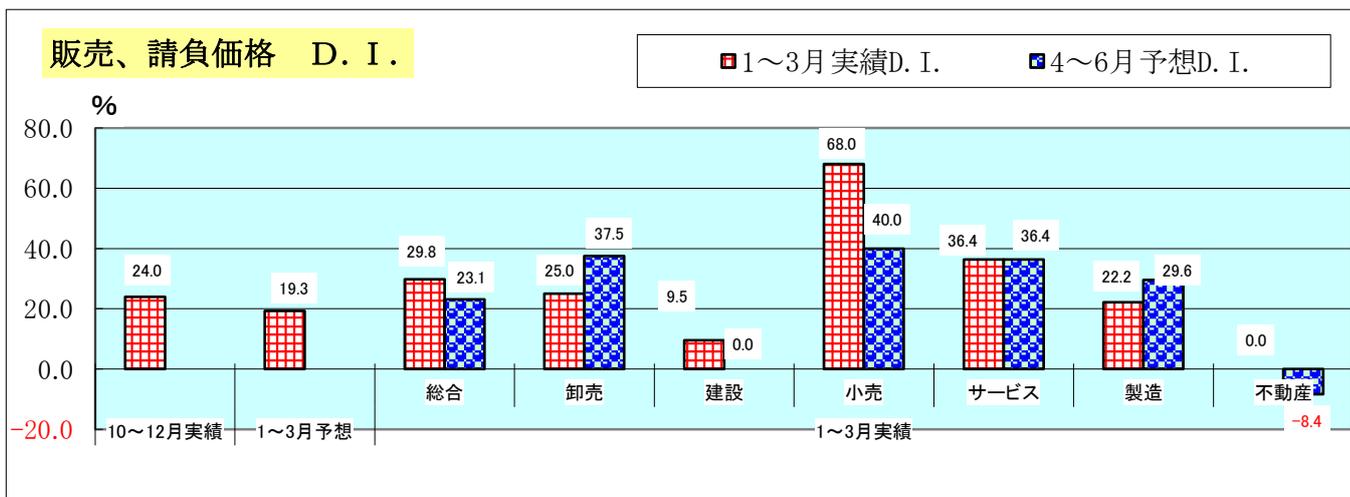
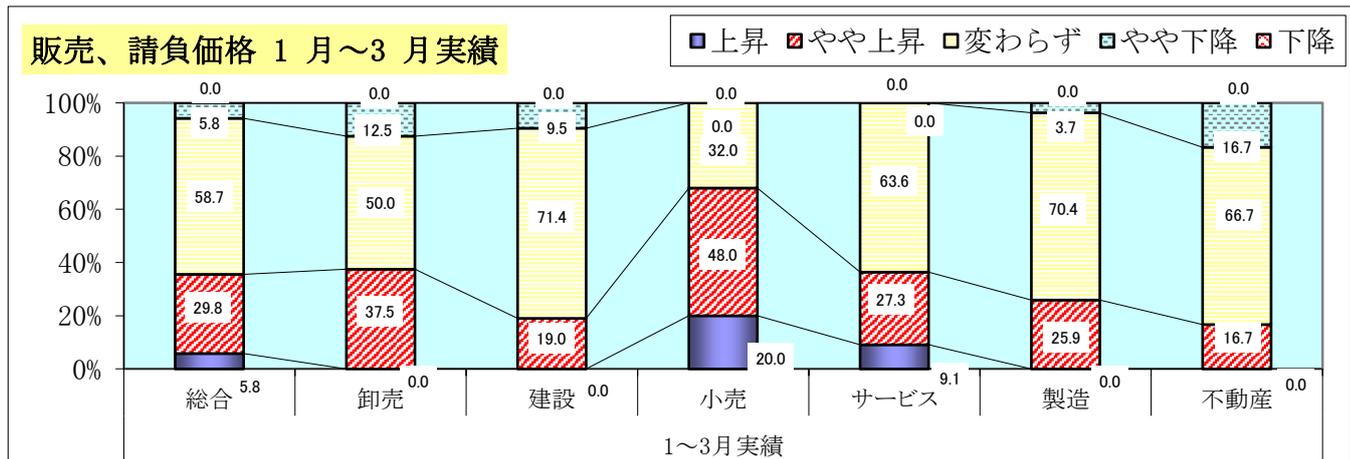
収益の動き		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-14.4	
1~3月予想							-30.7	
1~3月実績	総合	1.0	10.6	42.3	31.7	14.4	-34.5	-7.7
	卸売	0.0	12.5	50.0	12.5	25.0	-25.0	12.5
	建設	4.8	14.3	47.6	28.6	4.8	-14.3	-14.3
	小売	0.0	12.0	48.0	32.0	8.0	-28.0	-32.0
	サービス	0.0	27.3	36.4	9.1	27.3	-9.1	18.2
	製造	0.0	0.0	29.6	44.4	25.9	-70.3	14.8
	不動産	0.0	8.3	50.0	41.7	0.0	-33.4	-33.3



- 前期に比べて収益が「増加」「やや増加」とした企業は11.6%、「やや減少」「減少」とした企業は46.1%で、今期D. I. は△34.5となりました。
- 今期の収益D. I. は、前期実績D. I. △14.4から20.1ポイント減少し、前期調査における、今期予想D. I. △30.7に対しては3.8ポイント減少しました。
- 業種別の今期D. I. は、製造業で△70.3ポイント、不動産業で△33.4ポイント、小売業で△28.0ポイント、卸売業で△25.0ポイントと大幅な減少を示しています。
- 4~6月予想D. I. は△7.7で、1~3月実績より26.8ポイントの増加予想となりました。

#### (4) 販売価格（料金価格・請負価格）の動き

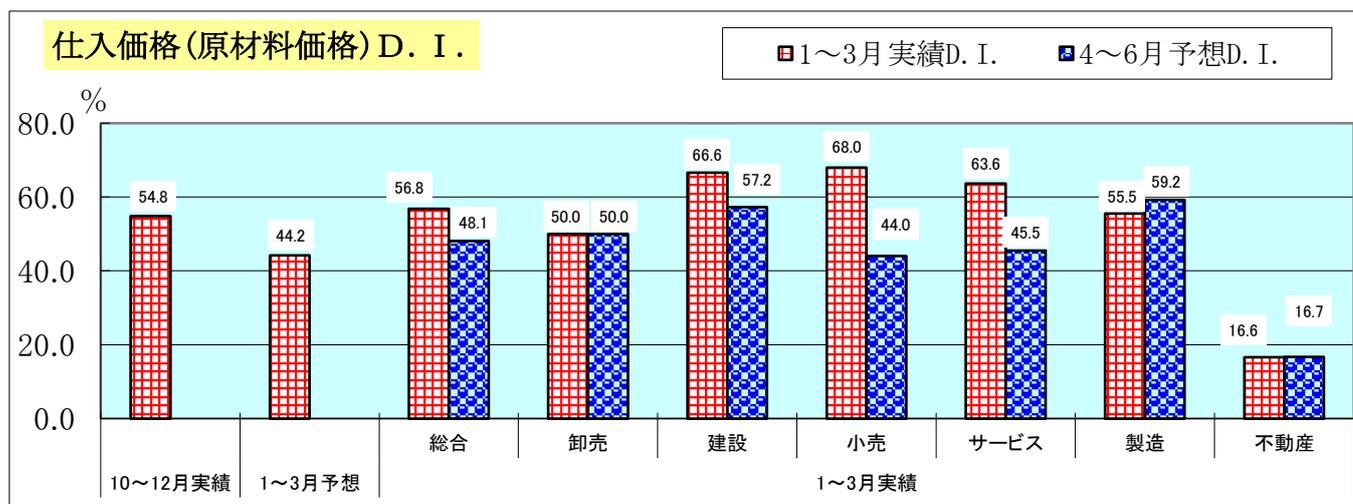
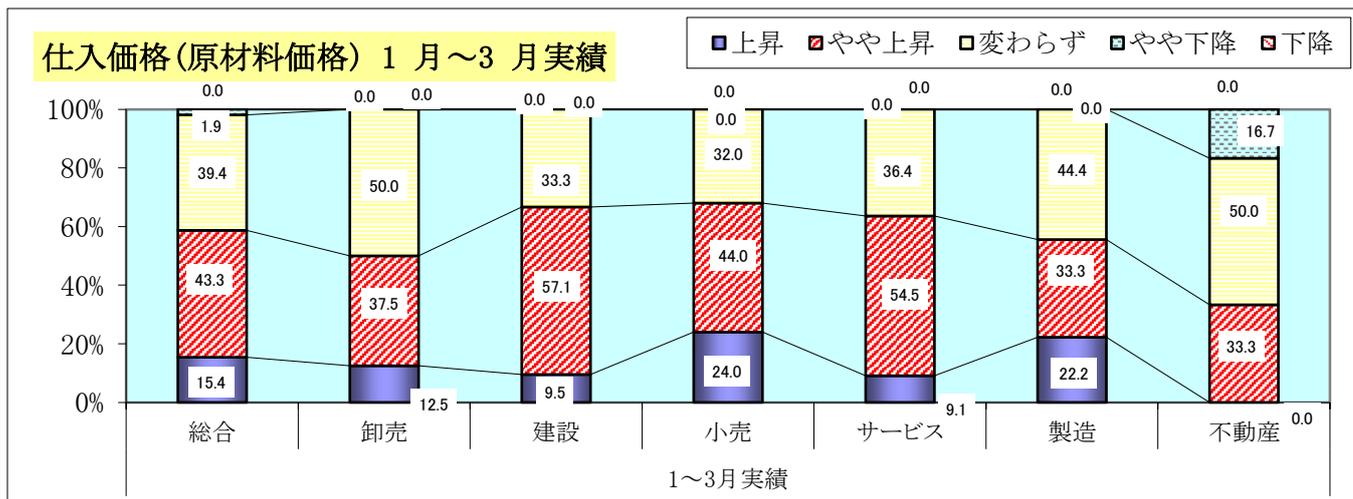
販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							24.0	
1~3月予想							19.3	
1~3月実績	総合	5.8	29.8	58.7	5.8	0.0	29.8	23.1
	卸売	0.0	37.5	50.0	12.5	0.0	25.0	37.5
	建設	0.0	19.0	71.4	9.5	0.0	9.5	0.0
	小売	20.0	48.0	32.0	0.0	0.0	68.0	40.0
	サービス	9.1	27.3	63.6	0.0	0.0	36.4	36.4
	製造	0.0	25.9	70.4	3.7	0.0	22.2	29.6
	不動産	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	-8.4



- 前期に比べて販売価格が「上昇」「やや上昇」とした企業は35.6%、「やや下降」「下降」とした企業は5.8%で、今期D.I.は29.8となりました。
- 今期の販売価格D.I.は、前期実績D.I.24.0から5.8ポイント上昇し、前期調査における今期予想D.I.19.3に対しては10.5ポイント上昇となりました。
- 業種別の今期D.I.は、不動産業を除くすべての業種で上昇を示しました。
- 4~6月予想D.I.は23.1で、1~3月実績より6.7ポイントの下降予想となりました。

### (5) 仕入価格（原材料価格）の動き

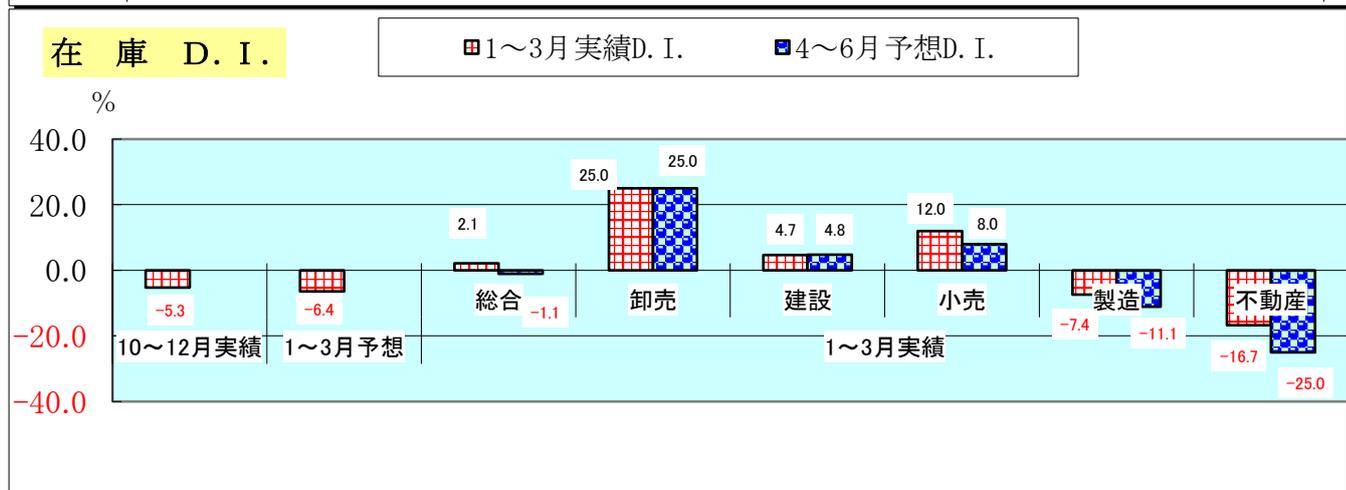
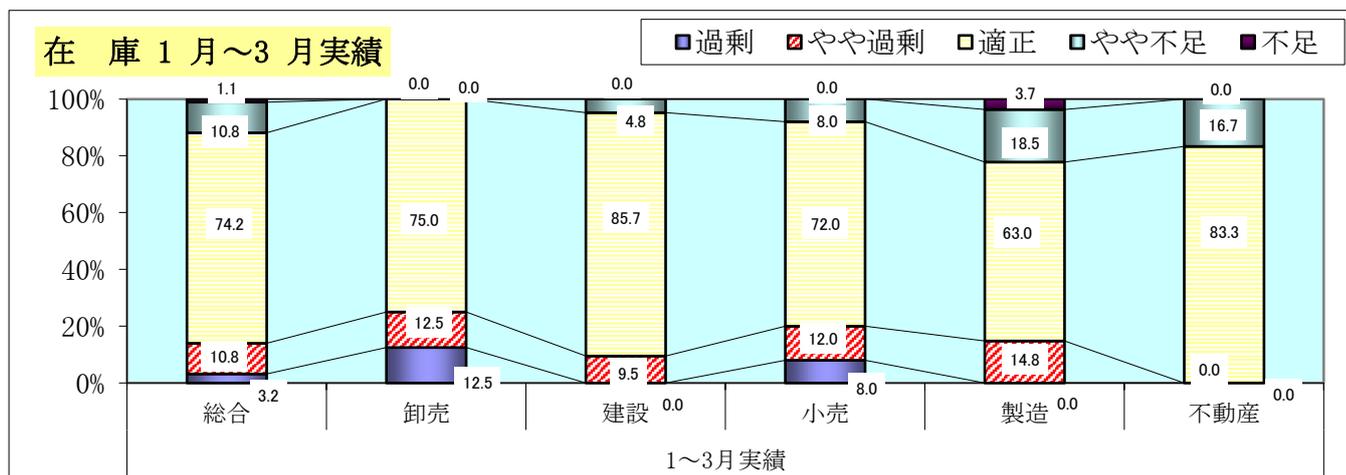
仕入価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1～3月実績D. I.	4～6月予想D. I.
10～12月実績							54.8	
1～3月予想							44.2	
1～3月実績	総合	15.4	43.3	39.4	1.9	0.0	56.8	48.1
	卸売	12.5	37.5	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	建設	9.5	57.1	33.3	0.0	0.0	66.6	57.2
	小売	24.0	44.0	32.0	0.0	0.0	68.0	44.0
	サービス	9.1	54.5	36.4	0.0	0.0	63.6	45.5
	製造	22.2	33.3	44.4	0.0	0.0	55.5	59.2
	不動産	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0	16.6	16.7



- 前期に比べて仕入価格が「上昇」「やや上昇」とした企業は58.7%、「やや下降」「下降」とした企業は1.9%で、今期D. I. は56.8となりました。
- 今期の仕入価格D. I. は、前期実績D. I. 54.8から2.0ポイント上昇、前期調査における今期予想D. I. 44.2に対しては12.6ポイントの上昇となりました。
- 業種別の今期D. I. では、全ての業種で大幅な仕入価格の上昇を示しました。
- 4～6月予想D. I. は48.1で、1～3月実績より8.7ポイントの下降予想となりました。

## (6) 在庫の動き

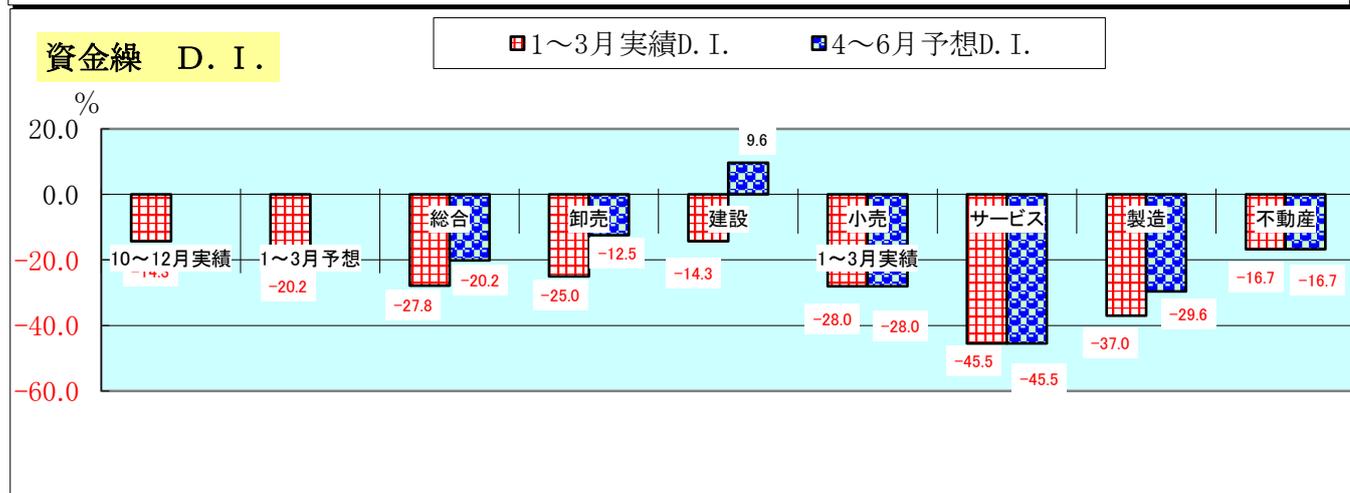
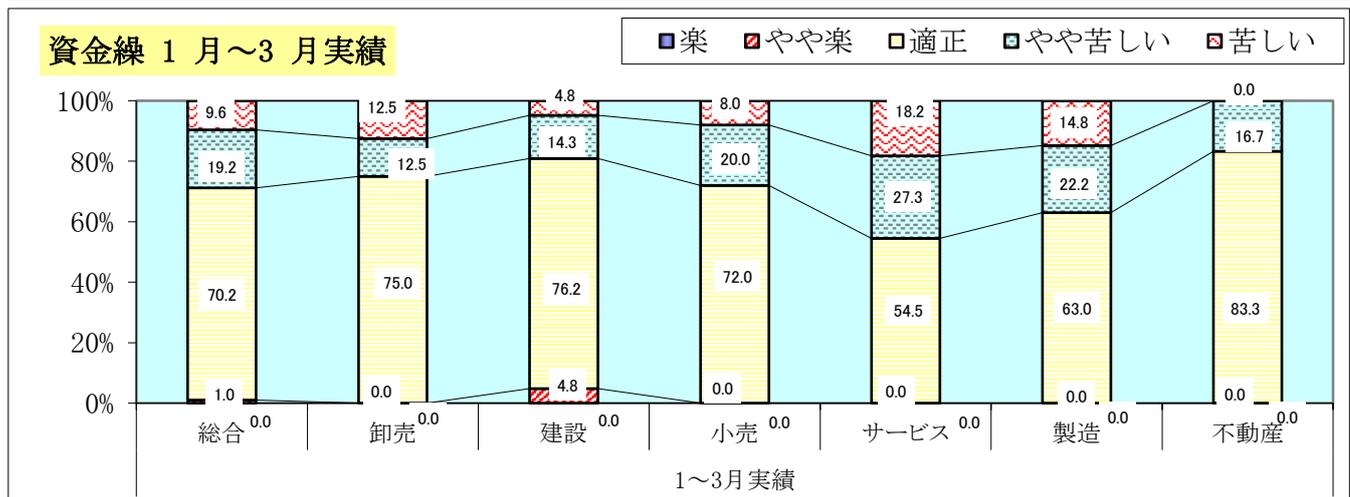
在庫		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-5.3	
1~3月予想							-6.4	
1~3月実績	総合	3.2	10.8	74.2	10.8	1.1	2.1	-1.1
	卸売	12.5	12.5	75.0	0.0	0.0	25.0	25.0
	建設	0.0	9.5	85.7	4.8	0.0	4.7	4.8
	小売	8.0	12.0	72.0	8.0	0.0	12.0	8.0
	製造	0.0	14.8	63.0	18.5	3.7	-7.4	-11.1
不動産	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	-16.7	-25.0	



- 前期に比べて在庫（サービス業を除く）が「過剰」「やや過剰」とした企業が14.0%、「やや不足」「不足」とした企業が11.9%で、今期D. I. は2.1となりました。
- 今期の在庫D. I. は、前期実績D. I.  $\Delta$ 5.3より7.4ポイントの在庫過剰となり、前期調査における今期予想D. I.  $\Delta$ 6.4に対しては、8.5ポイントの良化を示しました。
- 業種別の今期D. I. は、卸売業で25.0ポイント、小売業で12.0ポイントの在庫過剰を示しました。一方、不動産業で16.7ポイント、製造業で7.4ポイントの不足を示しました。
- 4~6月予想D. I. は $\Delta$ 1.1で、1~3月実績より3.2ポイントの在庫不足予想となりました。

## (7) 資金繰りの動き

資金繰り		楽	やや楽	適正	やや苦しい	苦しい	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-14.3	
1~3月予想							-20.2	
1~3月実績	総合	0.0	1.0	70.2	19.2	9.6	-27.8	-20.2
	卸売	0.0	0.0	75.0	12.5	12.5	-25.0	-12.5
	建設	0.0	4.8	76.2	14.3	4.8	-14.3	9.6
	小売	0.0	0.0	72.0	20.0	8.0	-28.0	-28.0
	サービス	0.0	0.0	54.5	27.3	18.2	-45.5	-45.5
	製造	0.0	0.0	63.0	22.2	14.8	-37.0	-29.6
	不動産	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	-16.7	-16.7

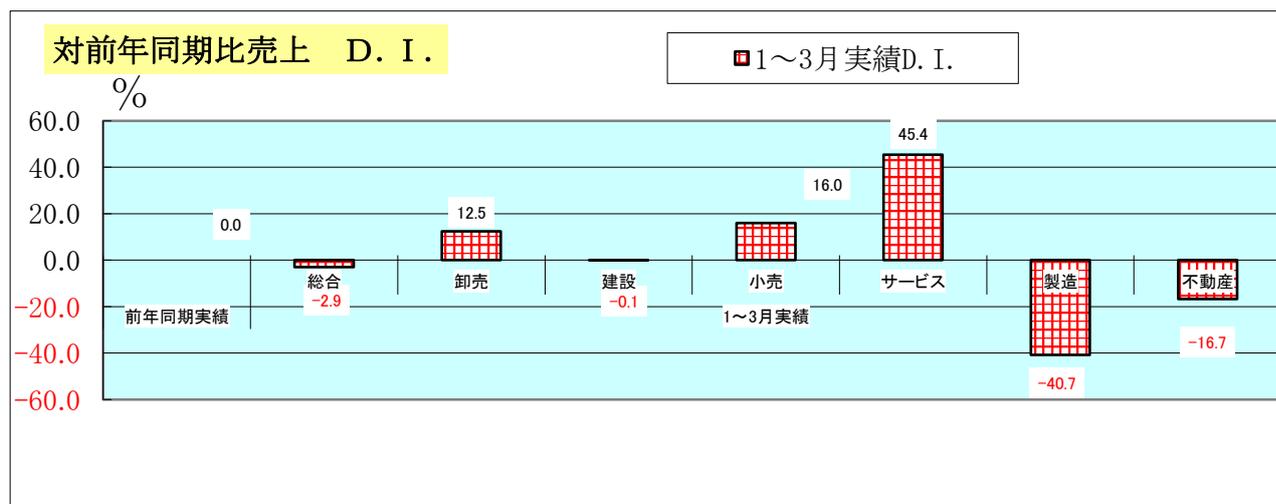
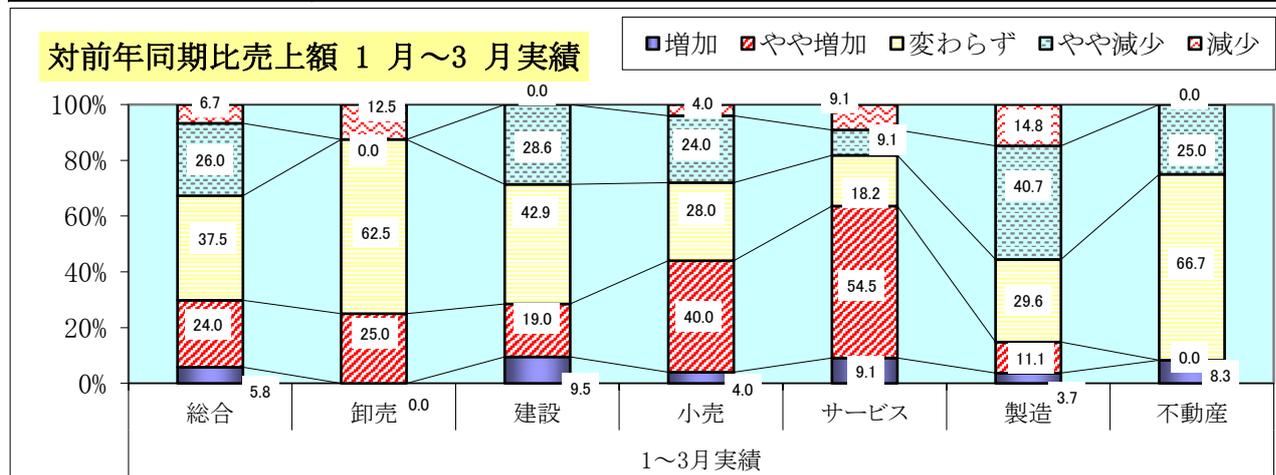


- 前期に比べて資金繰りが「楽」「やや楽」とした企業は1.0%、「やや苦しい」「苦しい」とした企業は28.8%となり、今期D. I. は△27.8となりました。
- 今期の資金繰りD. I. は、前期実績D. I. △14.3から13.5ポイント悪化。前期調査における今期予想D. I. △20.2に対して7.6ポイント悪化となりました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業△45.5、製造業△37.0、小売業△28.0、卸売業△25.0等とすべての業種で資金繰りの苦しい状況が窺われます。
- 4~6月予想D. I. は△20.2で、1~3月実績より7.6ポイントの良化予想となりました。

### 3. 対前年同期に比べた動き

#### (1) 売上

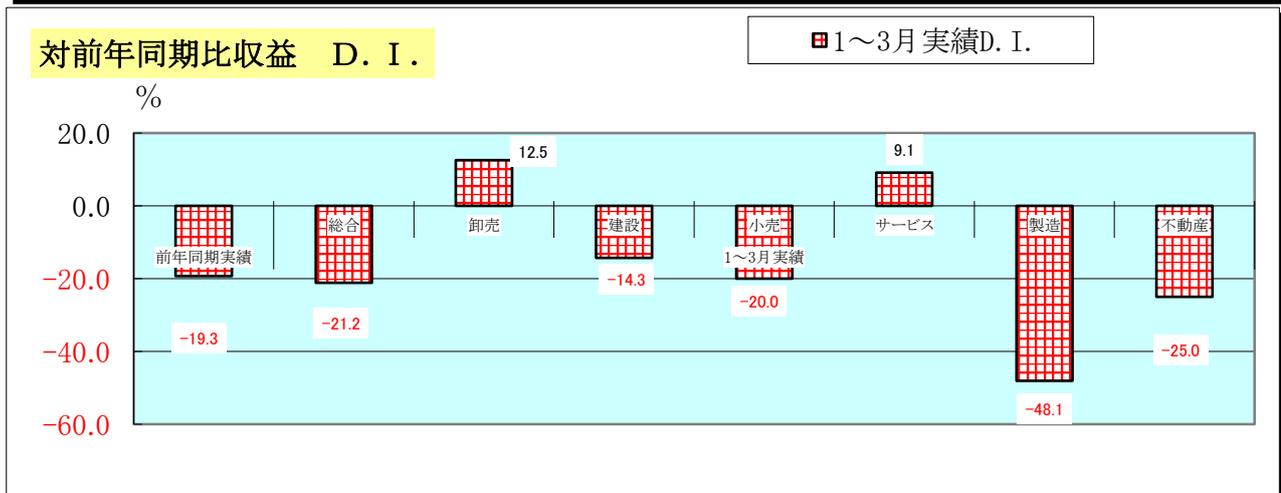
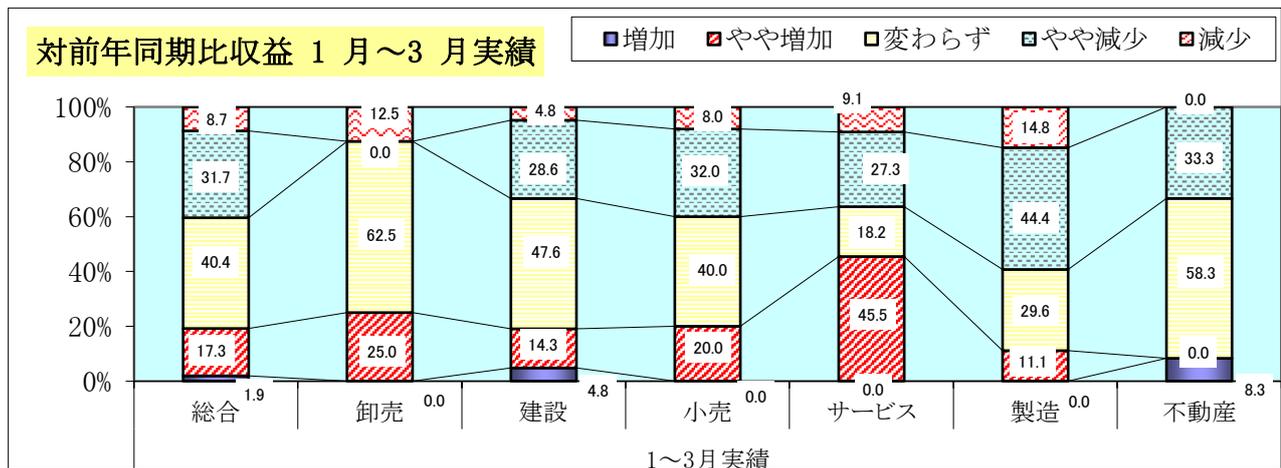
対前年同期比売上		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D. I.
前年同期実績							0.0
1～3月実績	総合	5.8	24.0	37.5	26.0	6.7	-2.9
	卸売	0.0	25.0	62.5	0.0	12.5	12.5
	建設	9.5	19.0	42.9	28.6	0.0	-0.1
	小売	4.0	40.0	28.0	24.0	4.0	16.0
	サービス	9.1	54.5	18.2	9.1	9.1	45.4
	製造	3.7	11.1	29.6	40.7	14.8	-40.7
	不動産	8.3	0.0	66.7	25.0	0.0	-16.7



- 前年同期と比べた売上実績については、「増加」「やや増加」とした企業は29.8%、「やや減少」「減少」とした企業は32.7%で、今期D. I. は△2.9となりました。
- 今期D. I. は、前年同期実績D. I. 0.0より2.9ポイント減少となりました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業45.4ポイント、小売業16.0ポイント、卸売業12.5ポイントの増加となりました。一方、製造業40.7ポイント、不動産業16.7ポイントの減少となりました。

## (2) 収益

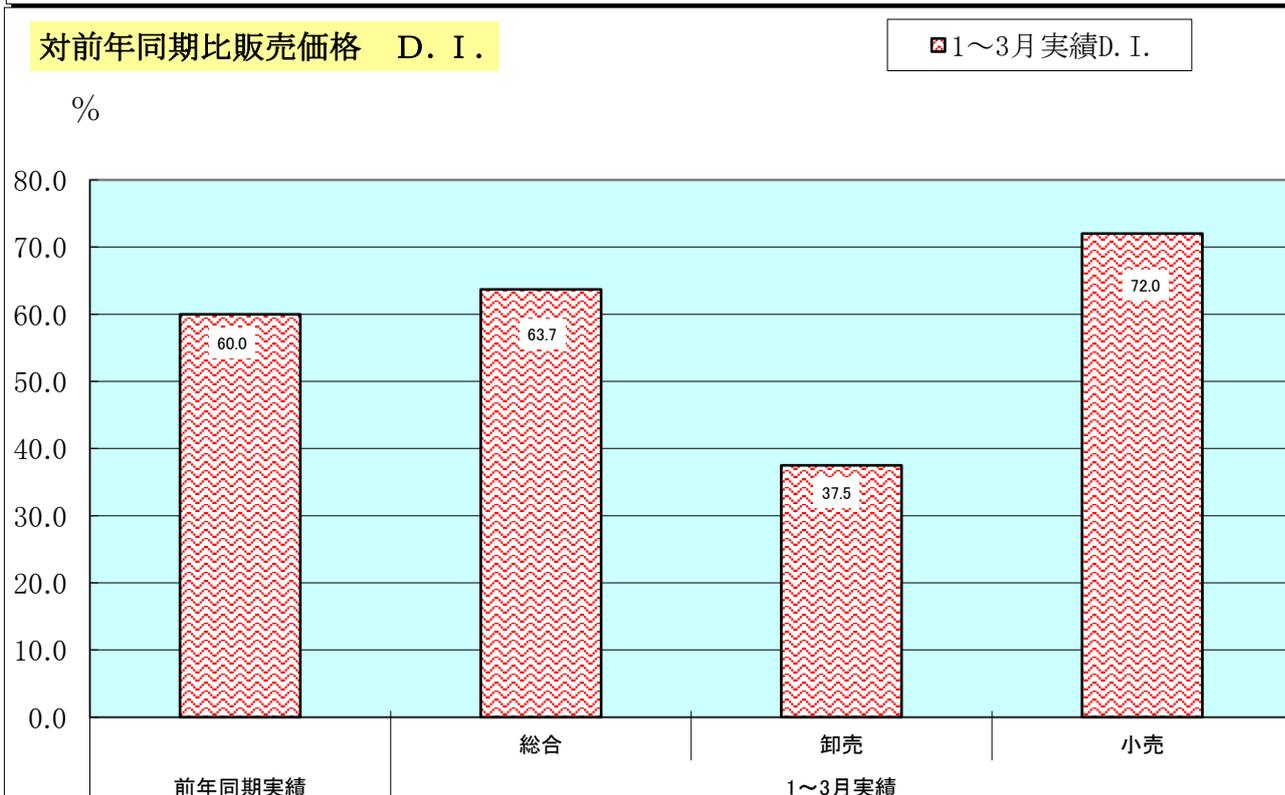
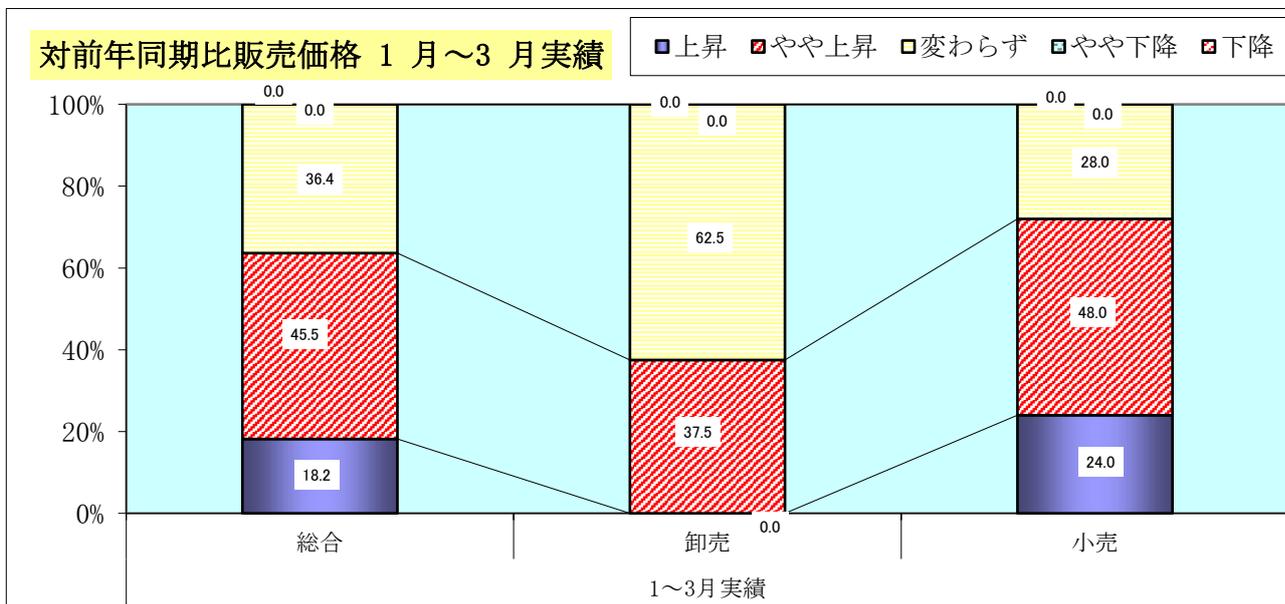
対前年同期比収益		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D. I.
前年同期実績							-19.3
1～3月実績	総合	1.9	17.3	40.4	31.7	8.7	-21.2
	卸売	0.0	25.0	62.5	0.0	12.5	12.5
	建設	4.8	14.3	47.6	28.6	4.8	-14.3
	小売	0.0	20.0	40.0	32.0	8.0	-20.0
	サービス	0.0	45.5	18.2	27.3	9.1	9.1
	製造	0.0	11.1	29.6	44.4	14.8	-48.1
	不動産	8.3	0.0	58.3	33.3	0.0	-25.0



- 前年同期と比べた収益については、「増加」「やや増加」とした企業は19.2%、「やや減少」「減少」とした企業は40.4%で、今期D. I. は△21.2となりました。
- 今期D. I. は、前年同期実績D. I. △19.3に対し、1.9ポイント減少となりました。
- 業種別の今期D. I. は、卸売業12.5、サービス業9.1の増加となりました。一方、製造業48.1、不動産業25.0、小売業20.0ポイント、建設業14.3ポイントの減少となりました。

### (3) 販売価格

対前年同期比販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1~3月実績D. I.
前年同期実績							60.0
1~3月実績	総合	18.2	45.5	36.4	0.0	0.0	63.7
	卸売	0.0	37.5	62.5	0.0	0.0	37.5
	小売	24.0	48.0	28.0	0.0	0.0	72.0

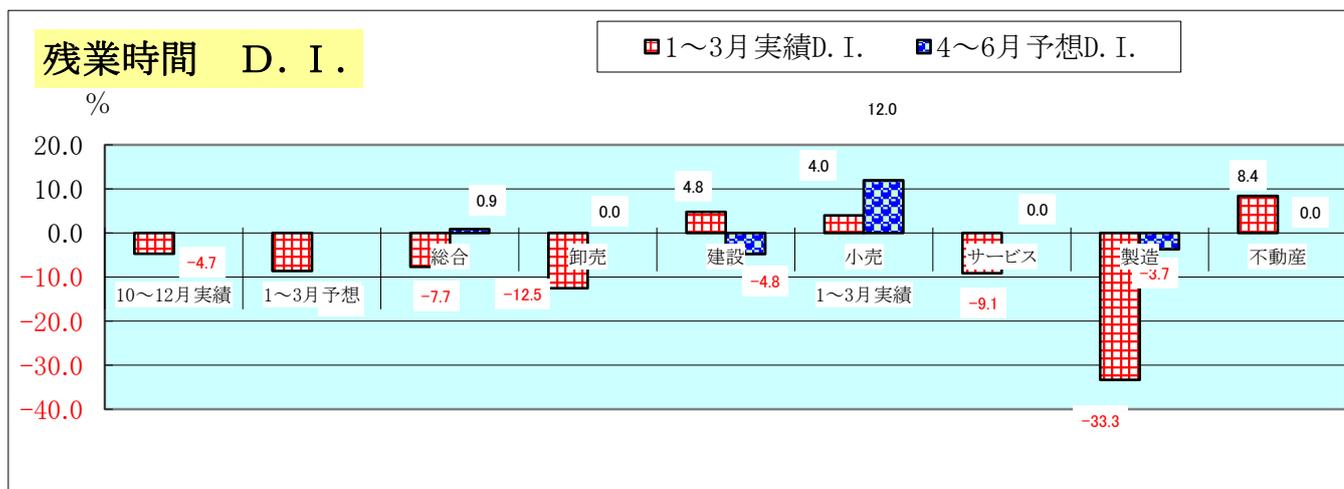
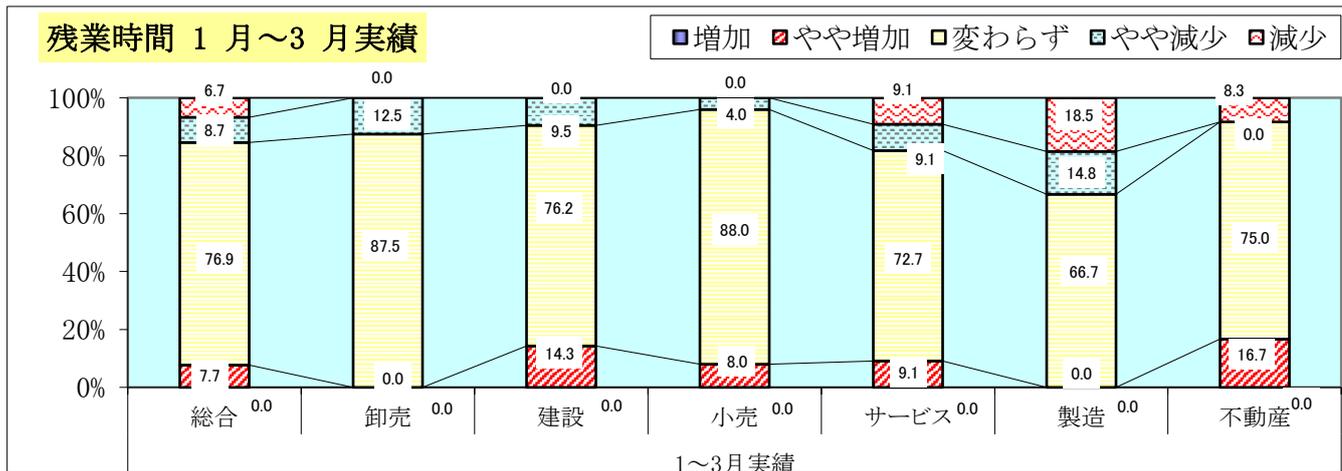


- 前年同期と比べた販売価格（卸売・小売のみ）については「上昇」「やや上昇」とした企業は63.7%、「やや下降」「下降」とした企業は0.0%となり、今期D. I. は63.7となりました。
- 今期D. I. は、前年同期実績D. I. 60.0に対し3.7ポイント上昇しました。
- 業種別の今期D. I. は、小売業72.0、卸売業37.5ポイントの上昇を示しました。

## 4. 雇用面の動き

### (1) 残業時間

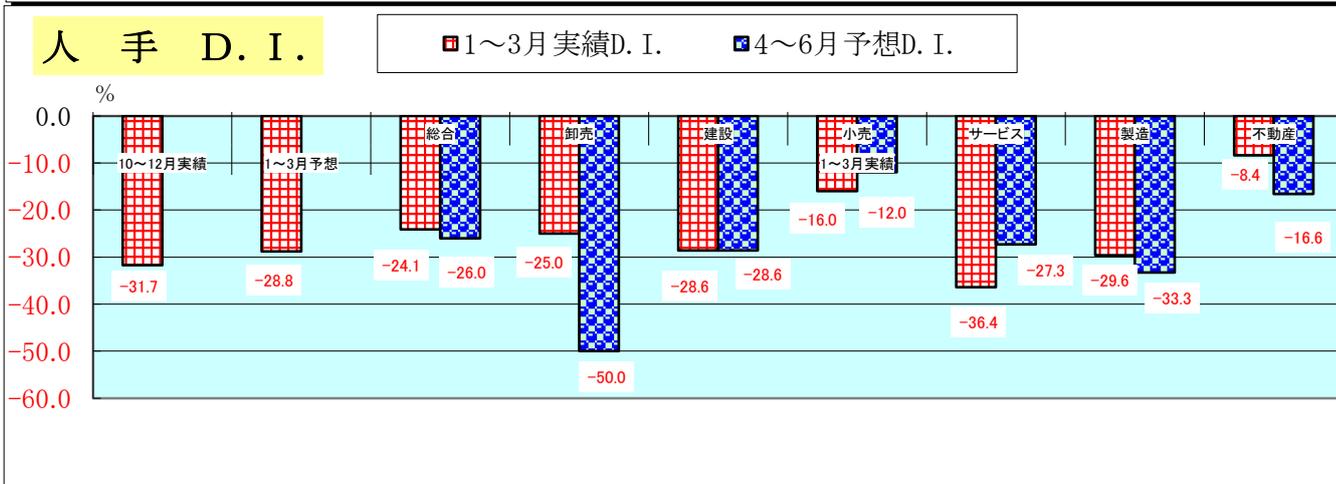
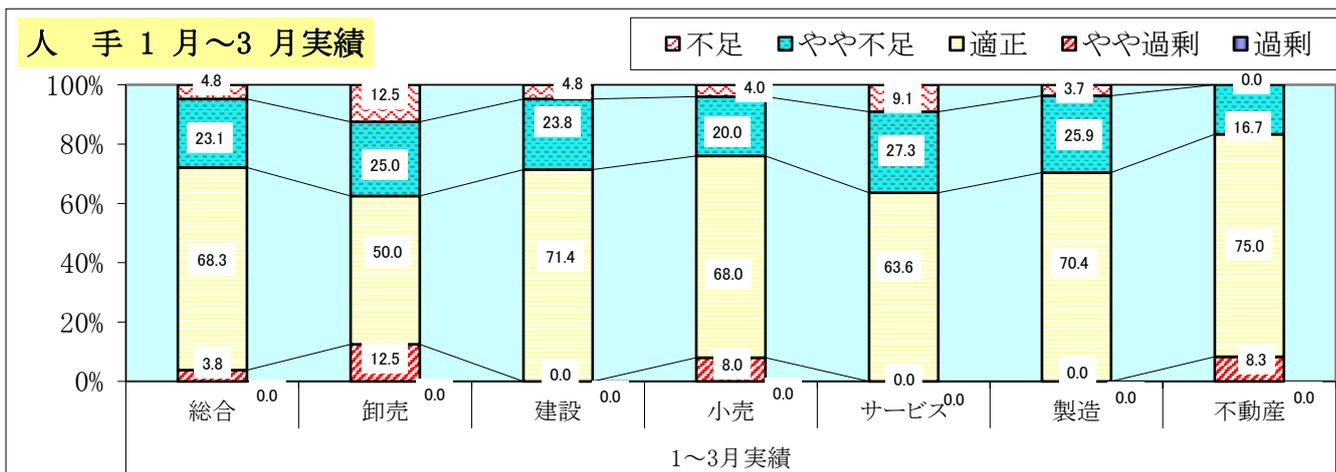
残業時間		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-4.7	
1~3月予想							-8.6	
1~3月実績	総合	0.0	7.7	76.9	8.7	6.7	-7.7	0.9
	卸売	0.0	0.0	87.5	12.5	0.0	-12.5	0.0
	建設	0.0	14.3	76.2	9.5	0.0	4.8	-4.8
	小売	0.0	8.0	88.0	4.0	0.0	4.0	12.0
	サービス	0.0	9.1	72.7	9.1	9.1	-9.1	0.0
	製造	0.0	0.0	66.7	14.8	18.5	-33.3	-3.7
	不動産	0.0	16.7	75.0	0.0	8.3	8.4	0.0



- 前期に比べて残業時間が、「増加」「やや増加」とした企業は7.7%、「やや減少」「減少」とした企業は15.4%で、今期D. I. は△7.7となりました。
- 今期D. I. は、前期実績D. I. △4.7に対し3.0ポイント残業時間の減少となりました。前期調査における今期予想D. I. △8.6に対しても0.9ポイント増加となりました。
- 業種別の今期D. I. は、製造業で33.3ポイント、卸売業12.5ポイント、サービス業で9.1ポイント減少を示しました。不動産業で8.4ポイント、建設業で4.8ポイント、小売業で4.0ポイント増加を示しました。
- 4~6月予想D. I. は0.9で、1~3月実績より8.6ポイント残業時間の増加予想となりました。

## (2) 人手

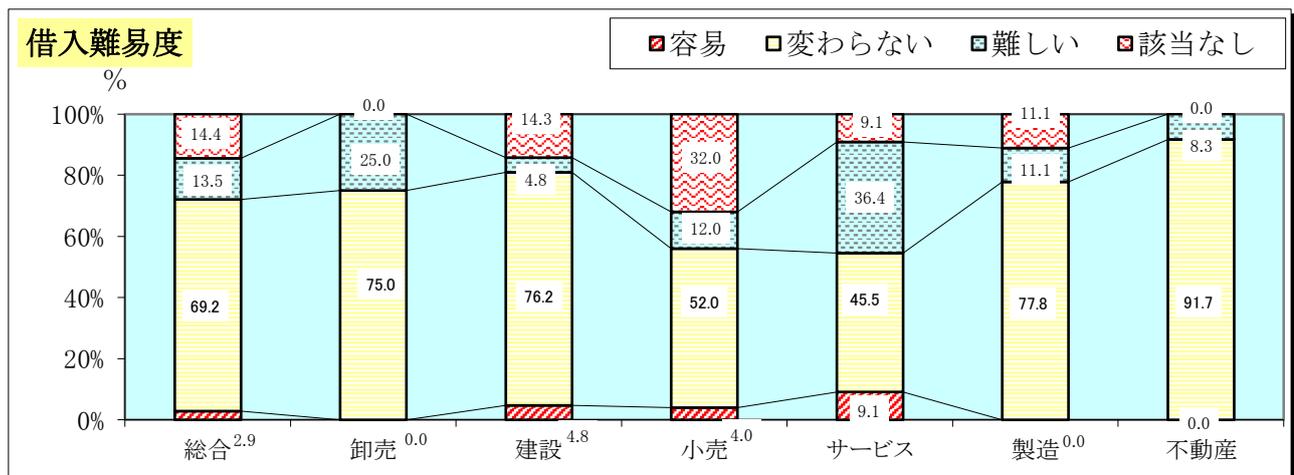
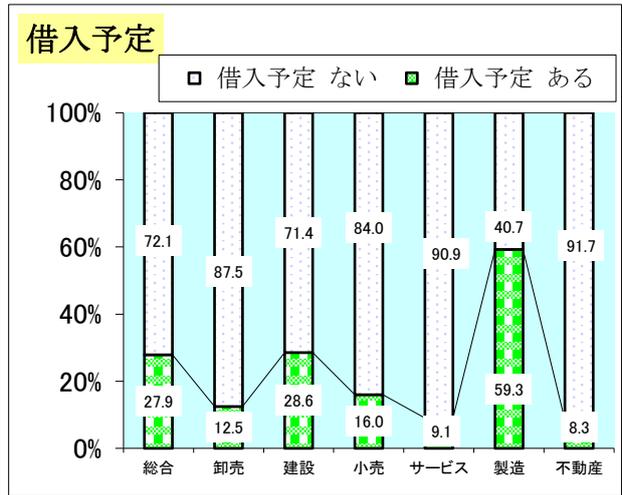
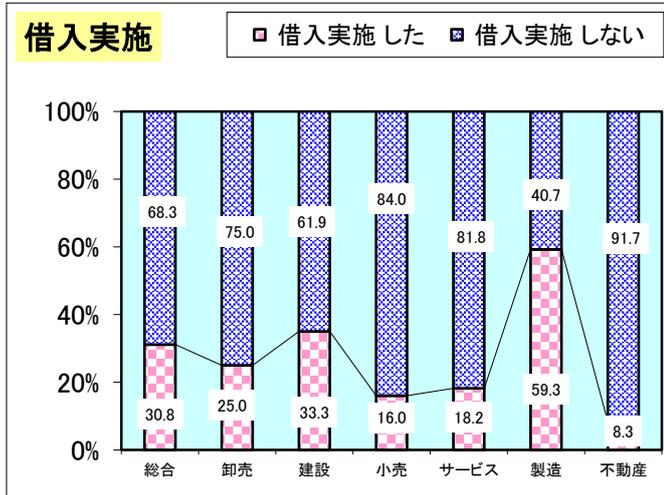
人 手		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-31.7	
1~3月予想							-28.8	
1~3月実績	総合	0.0	3.8	68.3	23.1	4.8	-24.1	-26.0
	卸売	0.0	12.5	50.0	25.0	12.5	-25.0	-50.0
	建設	0.0	0.0	71.4	23.8	4.8	-28.6	-28.6
	小売	0.0	8.0	68.0	20.0	4.0	-16.0	-12.0
	サービス	0.0	0.0	63.6	27.3	9.1	-36.4	-27.3
	製造	0.0	0.0	70.4	25.9	3.7	-29.6	-33.3
	不動産	0.0	8.3	75.0	16.7	0.0	-8.4	-16.6



- 今期の人手過不足については、「過剰」「やや過剰」とした企業は3.8%、「やや不足」「不足」とした企業は27.9%で、今期D.I.は△24.1となりました。
- 今期D.I.は前期実績D.I.△31.7から7.6ポイント人手不足の緩和を示し、前期調査における今期予想D.I.△28.8に対しても、4.7ポイント人手不足の緩和を示しました。
- 業種別の今期D.I.は、全業種で人手不足を示しており、サービス業△36.4、製造業△29.6、建設業△28.6、卸売業△25.0と人手不足が顕著となっています。
- 4~6月予想D.I.は△26.0で、1~3月実績より1.9ポイント人手不足感が強まる予想となりました。

## 5. 借入金の動き

借入の実施	借入実施		借入予定		借入難易度			
	した	しない	ある	ない	容易	変わらない	難しい	該当なし
総合	30.8	68.3	27.9	72.1	2.9	69.2	13.5	14.4
卸売	25.0	75.0	12.5	87.5	0.0	75.0	25.0	0.0
建設	33.3	61.9	28.6	71.4	4.8	76.2	4.8	14.3
小売	16.0	84.0	16.0	84.0	4.0	52.0	12.0	32.0
サービス	18.2	81.8	9.1	90.9	9.1	45.5	36.4	9.1
製造	59.3	40.7	59.3	40.7	0.0	77.8	11.1	11.1
不動産	8.3	91.7	8.3	91.7	0.0	91.7	8.3	0.0

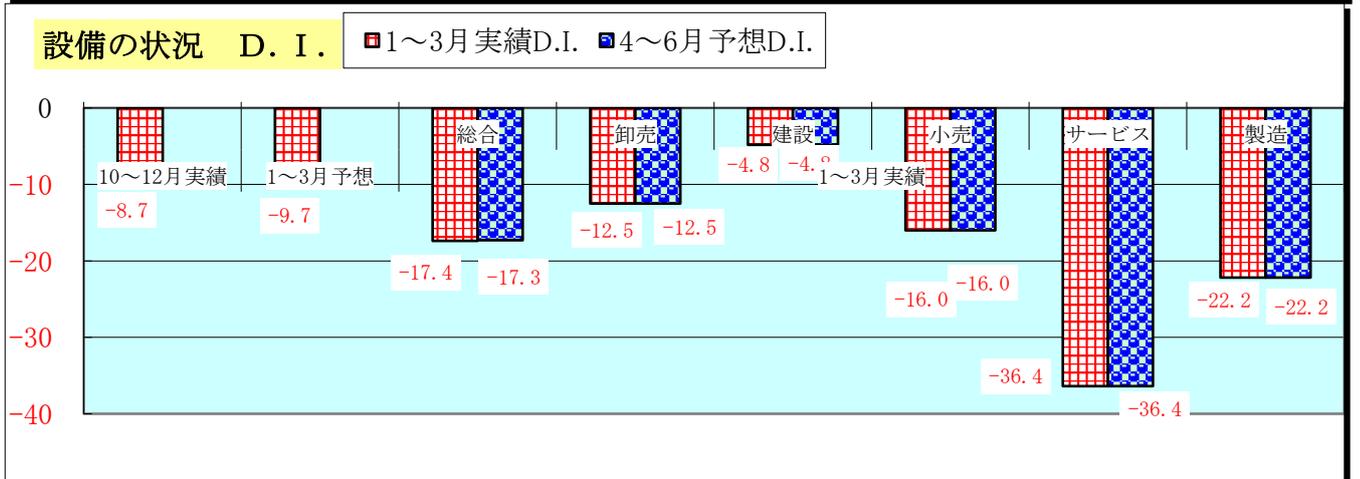
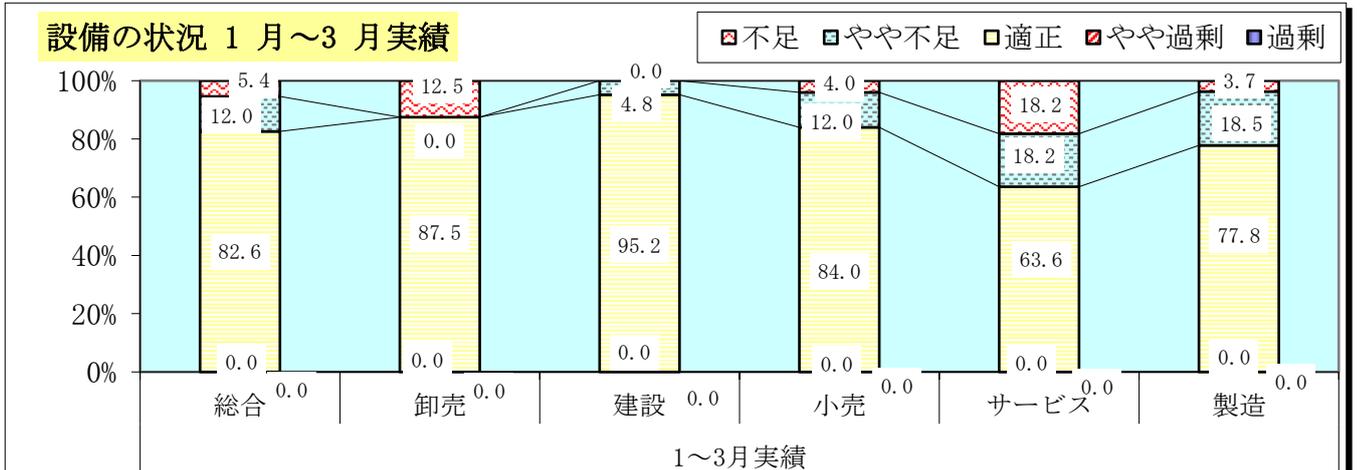


- 今期中に借入を「実施した」企業は全体で30.8%（前期34.6%）となりました。業種別では、製造業59.3%、建設業33.3%等となりました。
- 今後の借入予定では、全体で27.9%の企業が「予定あり」と回答しています。業種別では、製造業59.3%、建設業28.6%等となりました。
- 民間金融機関からの借入難易度については、「変わらない」と回答した企業が全体で69.2%（前期67.3%）、「容易」2.9%（前期5.8%）、「難しい」13.5%（前期11.5%）となりました。

## 6. 設備投資の動き

### (1) 設備状況

設備の動き		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1~3月実績D.I.	4~6月予想D.I.
10~12月実績							-8.7	
1~3月予想							-9.7	
1~3月実績	総合	0.0	0.0	82.6	12.0	5.4	-17.4	-17.3
	卸売	0.0	0.0	87.5	0.0	12.5	-12.5	-12.5
	建設	0.0	0.0	95.2	4.8	0.0	-4.8	-4.8
	小売	0.0	0.0	84.0	12.0	4.0	-16.0	-16.0
	サービス	0.0	0.0	63.6	18.2	18.2	-36.4	-36.4
製造	0.0	0.0	77.8	18.5	3.7	-22.2	-22.2	



- 今期の設備状況(不動産を除く)について、「過剰」「やや過剰」とした企業は0.0%、「やや不足」「不足」とした企業は17.4%で、今期D. I. は△17.4となりました。
- 今期D. I. は、前期実績D. I. △8.7に対して8.7ポイント不足感が強まりました。前期調査における今期予想D. I. △9.7に対しても7.7ポイント不足感が強まりました。
- 業種別の今期D. I. は、すべての業種で不足を示し、サービス業では強い不足感を示しています。
- 4~6月予想D. I. は△17.3で、1~3月実績より0.1ポイント不足緩和の予想となりました。

## (2) 設備投資の実施と予定状況

(複数回答)

設備投資の実施内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
1～3月(件数) 総合	0	5	8	4	4	2	76
卸売	0	0	0	0	0	0	8
建設	0	4	4	3	3	0	13
小売	0	-	-	0	1	1	23
サービス	0	0	2	1	0	1	8
製造	0	1	2	0	0	0	24

設備投資の予定内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
4～6月(件数) 総合	1	3	3	3	8	3	75
卸売	0	0	0	0	0	0	8
建設	0	2	2	1	4	0	15
小売	1	-	-	0	0	2	23
サービス	0	0	0	0	1	1	9
製造	0	1	1	2	3	0	20

○ 設備投資の実施状況は、「実施した」件数が延べ23件で前期調査時を10件下回りました。

業種別では、建設業が14件、サービス業が4件、製造業が3件、小売業が2件となりました。

設備投資の実施内容は、「機械更改」が8件、「機械新增設」が5件、「車両」が4件、「事務機器」が4件となりました。

○ 来期の設備投資予定は、「予定あり」と回答した件数は延べ21件となりました。

業種別では、建設業9件、製造業7件、小売業3件、サービス業2件となりました。

設備投資の予定内容は、「車両」が8件、「機械新增設」「機械更改」「事務機器」が各3件「土地建物」が1件となりました。

経営上の問題点（項目別構成比「集計」）  
（業種別度数）

（複数回答）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
売上の停滞・減少	2	2	6	5	12	12	5	3	14	12	5	4	44	38	16.0	14.1
同業者間の競争激化	0	0	0	1	2	3	2	2	1	1	2	2	7	9	2.5	3.3
利幅の縮小	3	2	6	8	8	6	3	3	11	8	3	1	34	28	12.4	10.4
人件費の増加	0	2	7	7	5	6	5	5	5	6	4	2	26	28	9.5	10.4
工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化	0	0	0	0	0	0	3	3	4	5	0	0	7	8	2.5	3.0
人件費以外の経費の増加	0	1	0	0	2	1	2	1	3	3	0	1	7	7	2.5	2.6
大手企業（大型店）との競争激化	4	2	0	0	1	2	1	1	1	0	2	3	9	8	3.3	3.0
合理化の不足	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0.4	0.4
天候の不順	0	1	1	1	5	4	0	0	1	1	0	0	7	7	2.5	2.6
代金回収の悪化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.0	0.4
原材料高・材料価格の上昇	0	0	13	15	0	0	3	5	19	20	0	0	35	40	12.7	14.8
地場産業の衰退	1	2	1	0	5	2	0	0	0	0	0	0	7	4	2.5	1.5
集客力の低下	0	0	2	1	2	2	0	0	0	0	0	0	4	3	1.5	1.1
駐車場・資材確保難	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
為替レートの変動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
販売商品の不足・商品物件の不足	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	3	2	1.1	0.7
販売納入先からの値下げ要請	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0.4	0.7
人手不足	2	1	11	9	6	5	4	3	6	9	5	2	34	29	12.4	10.7
商圏人口の減少	0	0	0	0	9	7	1	2	0	0	0	0	10	9	3.6	3.3
取引先の減少	1	0	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	5	5	1.8	1.9
生産能力の不足・技術力の不足	0	0	1	2	0	0	1	0	3	2	0	0	5	4	1.8	1.5
輸入製品（商品）との競争激化	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	2	2	0.7	0.7
問題なし	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	1	2	3	0.7	1.1
地価の高騰	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0.4	0.4
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	0.7	0.7
流通経路競争の激化	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
大手企業・工場の縮小・撤退	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
親企業による選別の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小口注文・多頻度配送の激化	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.0	0.4
商品物件の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	2	4	0.7	1.5
取扱商品（業務）の陳腐化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
仕入先からの値上り要請	3	5	0	0	5	6	0	0	2	3	0	0	10	14	3.6	5.2
下請けの確保難	0	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	2.5	2.6
合計	18	23	56	57	69	64	32	30	74	74	26	22	275	270	100.0	100.0

○ 各企業が経営上の問題点として挙げている項目を見ていくと

第1位～ 「原材料高・材料価格の上昇」 40件  
 第2位～ 「売上の停滞・減少」 38件  
 第3位～ 「人手不足」 29件

*前期*	
第1位～ 「売上の停滞・減少」	44件
第2位～ 「原材料高・材料価格の上昇」	35件
第3位～ 「利幅の縮小」「人手不足」	34件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第1位	第2位	第3位
卸売業	仕入先からの値上り要請 5	売上の停滞・減少、利幅の縮小、人件費の増加、大手企業（大型店）との競争激化、地場産業の衰退 2	人件費以外の経費の増加、天候の不順、販売商品の不足・商品物件の不足、販売納入先からの値下げ要請、人手不足、輸入製品（商品）との競争激化、流通経路競争の激化、小口注文・多頻度配送の激化 1
建設業	原材料高・材料価格の上昇 15	人手不足 9	利幅の縮小 8
小売業	売上の停滞・減少 12	商圏人口の減少 7	利幅の縮小、人件費の増加、仕入先からの値上り要請 6
サービス業	人件費の増加、原材料高・材料価格の上昇 5	売上の停滞・減少、利幅の縮小、工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化、人手不足 3	同業者間の競争激化、商圏人口の減少 2
製造業	原材料高・材料価格の上昇 20	売上の停滞・減少 12	人手不足 9
不動産業	売上の停滞・減少、商品物件の高騰 4	大手企業（大型店）との競争激化 3	同業者間の競争激化、人件費の増加、人手不足 2

当面の重点経営施策（項目別構成比「集計」）（複数回答）  
（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
経費を節減する	6	7	9	12	18	17	4	5	19	17	4	3	60	61	23.8	24.5
販路を広げる	6	7	6	7	0	0	1	1	17	16	2	2	32	33	12.7	13.3
情報力を強化する	2	2	5	5	0	0	0	0	2	5	8	9	17	21	6.7	8.4
人材を確保する	1	2	12	11	7	5	5	4	12	8	2	3	39	33	15.5	13.3
技術力を強化（高める）	0	0	7	8	0	0	3	4	0	0	0	0	10	12	4.0	4.8
流通経路の見直しをする	0	0	0	0	0	0	0	0	9	8	0	0	9	8	3.6	3.2
機械化を推進する	1	0	0	0	1	2	0	0	3	3	0	1	5	6	2.0	2.4
パート化を図る	1	0	2	2	2	1	4	3	1	2	1	0	11	8	4.4	3.2
新商品・技術の開発・新しい工法の導入	0	0	2	2	0	0	1	2	2	3	0	0	5	7	2.0	2.8
宣伝・広告を強化する	1	1	0	0	0	0	1	1	3	3	2	2	7	7	2.8	2.8
品揃えを充実（改善）する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
新しい事業を始める	0	0	0	0	7	4	5	7	0	0	3	2	15	13	6.0	5.2
仕入先を開拓・選別する	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	3	1	1.2	0.4
その他	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3	1	1.2	0.4
売れ筋商品を取扱う	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	5	5	2.0	2.0
特になし	0	0	2	1	4	5	1	0	0	0	1	0	8	6	3.2	2.4
店舗・設備を改装する	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	2	2	0.8	0.8
工場・機械を増設・移転する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.0	0.4
不動産の有効活動を図る	0	0	2	3	1	1	0	0	0	0	2	3	5	7	2.0	2.8
輸入品の取扱を増やす	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
取引先を支援する	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2	0.4	0.8
商店街事業を活性化させる	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	3	2	1.2	0.8
営業時間を延長する	0	0	0	0	6	4	0	0	0	0	0	0	6	4	2.4	1.6
提携先を見つける	0	1	1	1	2	2	0	0	0	0	2	2	5	6	2.0	2.4
不採算部門を整理・縮小する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
労働条件を改善する	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
教育訓練を強化する	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0.0	0.8
合計	19	21	49	52	60	53	27	28	69	68	28	27	252	249	100.0	100.0

○ 経営上の問題克服のために、企業経営者が講じている重点経営施策としては

第1位～ 「経費を節減する」 61件  
 第2位～ 「販路を広げる」 33件  
 第2位～ 「人材を確保する」 33件

\*前期\*

第1位～ 「経費を節減する」 60件  
 第2位～ 「人材を確保する」 39件  
 第3位～ 「販路を広げる」 32件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第1位	第2位	第3位
卸売業	経費を節減する、販路を広げる 7	情報力を強化する、人材を確保する 2	宣伝・広告を強化する、提携先を見つける、労働条件を改善する 1
建設業	経費を節減する 12	人材を確保する 11	技術力を強化（高める） 8
小売業	経費を節減する 17	人材を確保する、売れ筋商品を取扱う、特になし 5	新しい事業を始める、営業時間を延長する 4
サービス業	新しい事業を始める 7	経費を節減する 5	人材を確保する、技術力を強化（高める） 4
製造業	経費を節減する 17	販路を広げる 16	人材を確保する、流通経路の見直しをする 8
不動産業	情報力を強化する 9	経費を節減する、人材を確保する、不動産の有効活動を図る 3	販路を広げる、宣伝・広告を強化する、新しい事業を始める、提携先を見つける 2

## 特別調査

### 「外国人・海外情勢と中小企業」

問 1 昨今貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触する機会がコロナ前の水準に戻っているという実感はありますか。あてはまるものを1から4の中から1つ選んでお答えください。また、外国とのかかわりの中で今後ビジネスチャンスを増やしたいという意向はありますか。5から9の中から1つ選んでお答えください。

	外国人との接触機会				ビジネスチャンスを増やす意向				
	1. コロナ前を上回っている	2. コロナ前とほぼ同水準	3. コロナ前を下回っている	4. わからない	5. 大いにある	6. どちらかというところ	7. どちらかというところない	8. まったくない	9. わからない
合計（構成比）	12.5%	24.0%	4.8%	58.7%	7.7%	15.4%	20.2%	23.1%	33.7%
総合	13	25	5	61	8	16	21	24	35
卸売	2	3	0	3	1	3	0	1	3
建設	2	9	0	10	0	1	7	8	5
小売	1	4	0	20	1	3	2	7	12
サービス	2	4	0	5	1	4	2	1	3
製造	4	4	5	14	3	2	10	5	7
不動産	2	1	0	9	2	3	0	2	5

上記質問において「外国人との接触機会」では、4.「わからない」が61先と一番多く、次いで2.「コロナ前とほぼ同水準」が25先の回答となり、「ビジネスチャンスを増やす意向」では、9.「わからない」が35先と一番多く、次いで8.「まったくない」が24先、7.「どちらかというところない」が21先の回答となりました。

問 2 貴社では、外国人労働者を雇用していますか。雇用している場合は、従業員全体に占める外国人労働者の割合を1から6の中から1つ選んでお答えください。また、雇用していない場合は、外国人労働者を雇用していない理由を7から0の中から1つ選んでお答えください。

	外国人労働者を雇用している						外国人労働者を雇用していない			
	1. 50%以上	2. 40%～50%	3. 30%～40%	4. 20%～30%	5. 10%～20%	6. 10%未満	7. 人手が充足しており必要ない	8. 受入負担（就労環境整備、育成コスト等）が重い	9. 雇用の方法が分からない、行政手続きの負担が重い	0. コミュニケーションなどで心配がある
合計（構成比）	0.0%	0.0%	1.0%	1.9%	1.0%	3.8%	40.4%	27.9%	12.5%	11.5%
総合	0	0	1	2	1	4	42	29	13	12
卸売	0	0	0	0	0	2	1	2	2	1
建設	0	0	0	0	0	1	5	11	2	2
小売	0	0	0	0	0	1	15	3	2	4
サービス	0	0	0	0	0	0	4	4	1	2
製造	0	0	1	2	1	0	11	6	4	2
不動産	0	0	0	0	0	0	6	3	2	1

上記質問において「外国人労働者を雇用している」では、6.「10%未満」が4先と一番多く、次いで4.「20%～30%」が2先の回答となり、「外国人労働者を雇用していない」では、7.「人手が充足しており必要ない」が42先と一番多く、次いで8.「受入れ負担（就労環境整備、育成コスト等）が重い」が29先の回答となりました。

問 3 貴社では、売上全体に占める外国人（旅行客を含む）、もしくは外国企業向けの売上げ（輸出を含む）はどれくらいですか。あてはまるものを1から6の中から1つ選んでお答えください。売上がない場合は7を選択ください。

	外国向けの売上げがある						
	1. 50%以上	2. 40%～50%	3. 30%～40%	4. 20%～30%	5. 10%～20%	6. 10%未満	7. 外国向けの売上げはない
合計（構成比）	1.0%	0.0%	1.0%	1.0%	4.8%	9.6%	82.7%
総合	1	0	1	1	5	10	86
卸売	0	0	0	0	2	1	5
建設	0	0	0	0	0	0	21
小売	0	0	0	0	0	4	21
サービス	0	0	1	1	1	3	5
製造	1	0	0	0	1	2	23
不動産	0	0	0	0	1	0	11

上記質問において、104先中86先が7.「外国向けの売上げはない」との回答となり、次いで6.「10%未満」が10先、5.「10%～20%」が5先となりました。

**問 4** 貴社では、外国向けの売上げを増加させるための取組みを行っていますか。行っている企業は、特に行っている取組みについて1から5の中から1つ選んでお答えください。行っていない企業は、行っていない理由について6から0の中から1つ選んでお答えください。

	外国向けの取組みを行っている					外国向けの取組みを行っていない				
	1. 製品・商品・サービス面の開発強化	2. 営業力の強化	3. ネットや広告による情報発信	4. 海外拠点の設置・強化	5. その他 ( )	6. 国内だけで十分な売上げがある	7. 何をすればいいかわからない	8. 人材が不足している	9. 資金面で余裕がない	0. その他 ( )
合計 (構成比)	4.8%	2.9%	1.9%	1.9%	0.0%	40.4%	17.3%	6.7%	15.4%	8.7%
総合	5	3	2	2	0	42	18	7	16	9
卸売	0	1	0	2	0	1	2	0	2	0
建設	0	0	0	0	0	11	4	0	1	5
小売	1	0	0	0	0	12	4	2	4	2
サービス	3	1	1	0	0	2	2	1	1	0
製造	0	1	0	0	0	10	5	2	7	2
不動産	1	0	1	0	0	6	1	2	1	0

上記質問において「外国向けの取組みを行っている」では、1.「製品・商品・サービス面の開発強化」が5先、次いで2.「営業力の強化」が3先の回答となり、「外国向けの取組みを行っていない」では、6.「国内だけで十分な売上げがある」が42先と一番多く、次いで7.「何をすればいいかわからない」が18先、9.「資金面で余裕がない」が16先の回答となりました。

**問 5 特別設問** 貴社では、人材定着などに向けて、2025年中に賃金（定期昇給分除く、賞与や一時金除く）の引上げを実施（実施予定を含む）しますか。引上げる場合はその賃金引上げ率について1から4の中から1つ選んでお答えください。また、引上げない場合は引上げなかった理由について5から0の中から1つ選んでお答えください。

	引上げ				引上げない					
	1. 0%以上2%未満	2. 2%以上4%未満	3. 4%以上6%未満	4. 6%以上	5. 賃上げに見合う価格転嫁ができていない	6. 同業や同地域内の他社が上げていない	7. 今後の業績見通しが不透明	8. 売上の低迷や伸び悩み	9. これまでに賃金を引上げ済み	0. 自社に従業員はいない（家族経営など）
合計 (構成比)	10.6%	24.0%	4.8%	0.0%	8.7%	3.8%	15.4%	6.7%	12.5%	13.5%
総合	11	25	5	0	9	4	16	7	13	14
卸売	0	2	0	0	1	0	2	1	2	0
建設	3	11	1	0	1	1	1	1	2	0
小売	4	2	1	0	2	0	4	1	2	9
サービス	2	3	0	0	0	1	1	1	2	1
製造	0	5	3	0	4	2	4	2	5	2
不動産	2	2	0	0	1	0	4	1	0	2

上記質問において「引上げ」では、2.「2%以上4%未満」が25先と一番多く、次いで1.「0%以上2%未満」が11先、「引上げない」では、7.「今後の業績見通しが不透明」が16先、0.「自社に従業員はいない(家族経営など)」が14先、9.「これまでに賃金を引上げ済み」が13先の回答となりました。